

基腐病以外のさつまいもの腐敗対策

近年、一部のほ場でサツマイモ基腐病以外の腐敗症状の発生が見られます。今後、原因菌の伝染経路や発生生態の解明、農薬登録に向けた取組が進められますが、これまで県内で実施されたアンケート調査結果から、下記のことが分かっています。

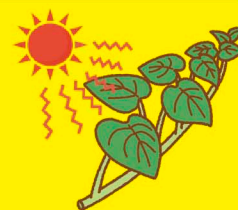


腐敗症状が発生したほ場の主な特徴

●排水性が悪い



●植付時期が遅い



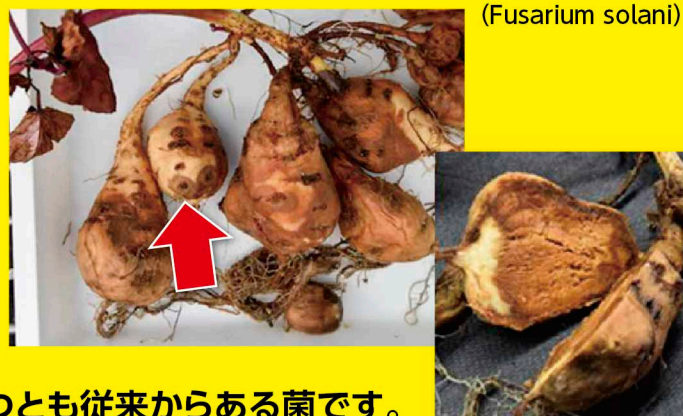
腐敗した部位に見られた主な原因菌

●茎根腐細菌病



●フザリウムソラニー

(Fusarium solani)



※2つとも従来からある菌です。

取り組むべき対策

- サツマイモ基腐病対策と同様に、枕畝の除去、排水溝の設置、ほ場の均平化などの排水対策が重要です。国の農地耕作条件改善事業も活用しましょう。
- 5月中旬までに植え付けられるよう、育苗管理やほ場の準備をしましょう。
- さつまいもにできた害虫による傷口から菌が侵入・感染しないよう、植付前に土壌中の害虫(コガネムシ、ハリガネムシ、センチュウ等)を防除(裏面参照)し、食害を防ぎましょう。



やってみよう!

ほ場にサツマイモ基腐病菌を…

持ち込まない! 増やさない! 残さない!

持ち込まない! 種いもの蒸熱消毒、バイオ苗の利用、苗床の土壤消毒、苗消毒など

増やさない! 排水対策、抵抗性品種の活用、異常株の除去、予防防除など

残さない! 収穫後の残さの持ち出し・早期耕うん、他作物との輪作など



蒸熱処理装置

「持ち込まない」
対策



バイオ苗培養施設



抵抗性品種「みちしずく」

排水対策

重要!
3つの対策を
総合的に!

「残さない」
対策



収穫後の早期耕うん



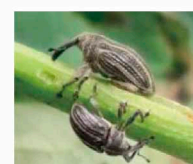
予防防除(ドローン)

「増やさない」
対策

害虫対策も忘れずに!

■ ムツスジアシナガゾウムシ対策

被害が大きくなると収量にも影響します。ほ場をよく見回り、早期発見・防除に努めましょう。※使用農薬（コテツフロアブル、グレーシア乳剤、スミチオン乳剤等）



ムツスジアシナガゾウムシ

■ 基腐病以外の腐敗症状(裏面参照)の一因である土壌害虫対策

害虫	農薬名	10a使用量	使用時期	使用方法	使用回数
ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	ネマクリーン粒剤	20kg	植付前	全面土壌混和	1回
	ビーラム粒剤	20kg	植付前	全面土壌混和	1回
	ネマトリンエース粒剤	20~30kg	植付前	全面土壌混和	1回
コガネムシ類	ダントツ粒剤	6~9kg	植付前	全面処理土壌混和又は 作条処理土壌混和	1回
ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類	ビーラムプラス粒剤	20kg	植付前	全面土壌混和	1回
コガネムシ類 ハリガネムシ類	プリンスバイト	6kg	植付前又は 植付時	全面処理土壌混和(コガネムシ類のみ) 又は植溝処理土壌混和	1回

※適用農薬の一部を記載しています。詳しくは、お近くの県地域振興局・支庁にお問い合わせください。